

**ADVANTEST®**

# 2020年度（2021年3月期） 第2四半期決算説明会

2020年10月29日  
株式会社アドバンテスト

All Rights Reserved - ADVANTEST CORPORATION

# ご注意

---

## 会計基準について

- 本プレゼンテーション資料に記載されている実績や見通し数値は、国際会計基準（IFRS）に基づいて作成しています。

## 将来の事象に係る記述に関する注意

- 本プレゼンテーション資料およびアドバンテスト代表者が口頭にて提供する情報には、将来の事象についての、当社の現時点における期待、見積りおよび予測に基づく記述が含まれております。これらの将来の事象に係る記述は、当社における実際の財務状況や活動状況が、当該将来の事象に係る記述によって明示されているものまたは暗示されているものと重要な差異を生じるかもしれないという既知および未知のリスク、不確実性その他の要因が内包されており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。

## 本資料の利用について

- 本プレゼンテーション資料に記載されている情報は、各国の著作権法、特許法、商標法、意匠法等の知的財産権法その他の法律及び各種条約で保護されています。事前に当社の文書による承諾を得ない限り、法律によって明示的に認められる範囲を超えて、これらの情報を使用（改変、複製、転用等）することを禁止します。



```
...mirror_mod.mirror_object = ...  
operation == "MIRROR_X":  
mirror_mod.use_x = True  
mirror_mod.use_y = False  
mirror_mod.use_z = False  
operation == "MIRROR_Y":  
mirror_mod.use_x = False  
mirror_mod.use_y = True  
mirror_mod.use_z = False  
operation == "MIRROR_Z":  
mirror_mod.use_x = False  
mirror_mod.use_y = False  
mirror_mod.use_z = True  
  
...selection at the end -add ...  
..._ob.select= 1  
..._ob.select=1  
...context.scene.objects.active  
...["Selected" + str(modifier...  
...mirror_ob.select = 0  
..._ob.context.selected ob...
```

# 2020年度第2四半期決算報告

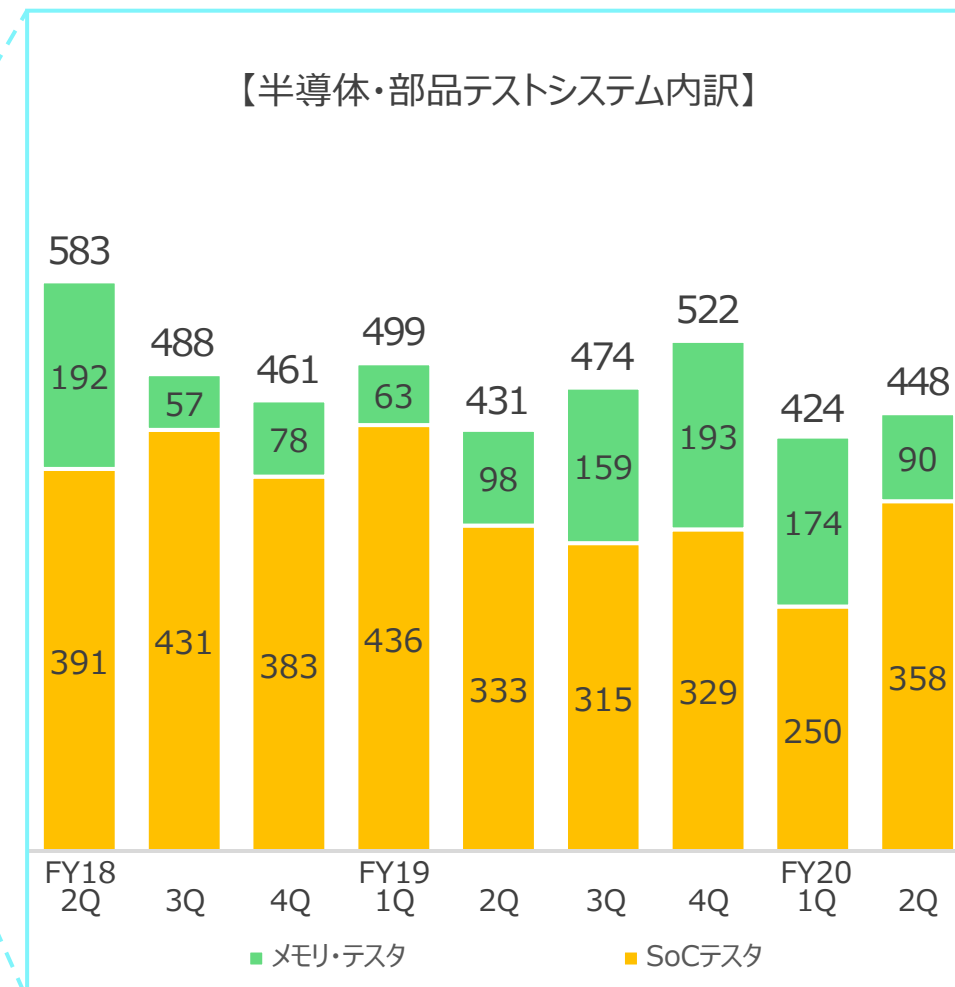
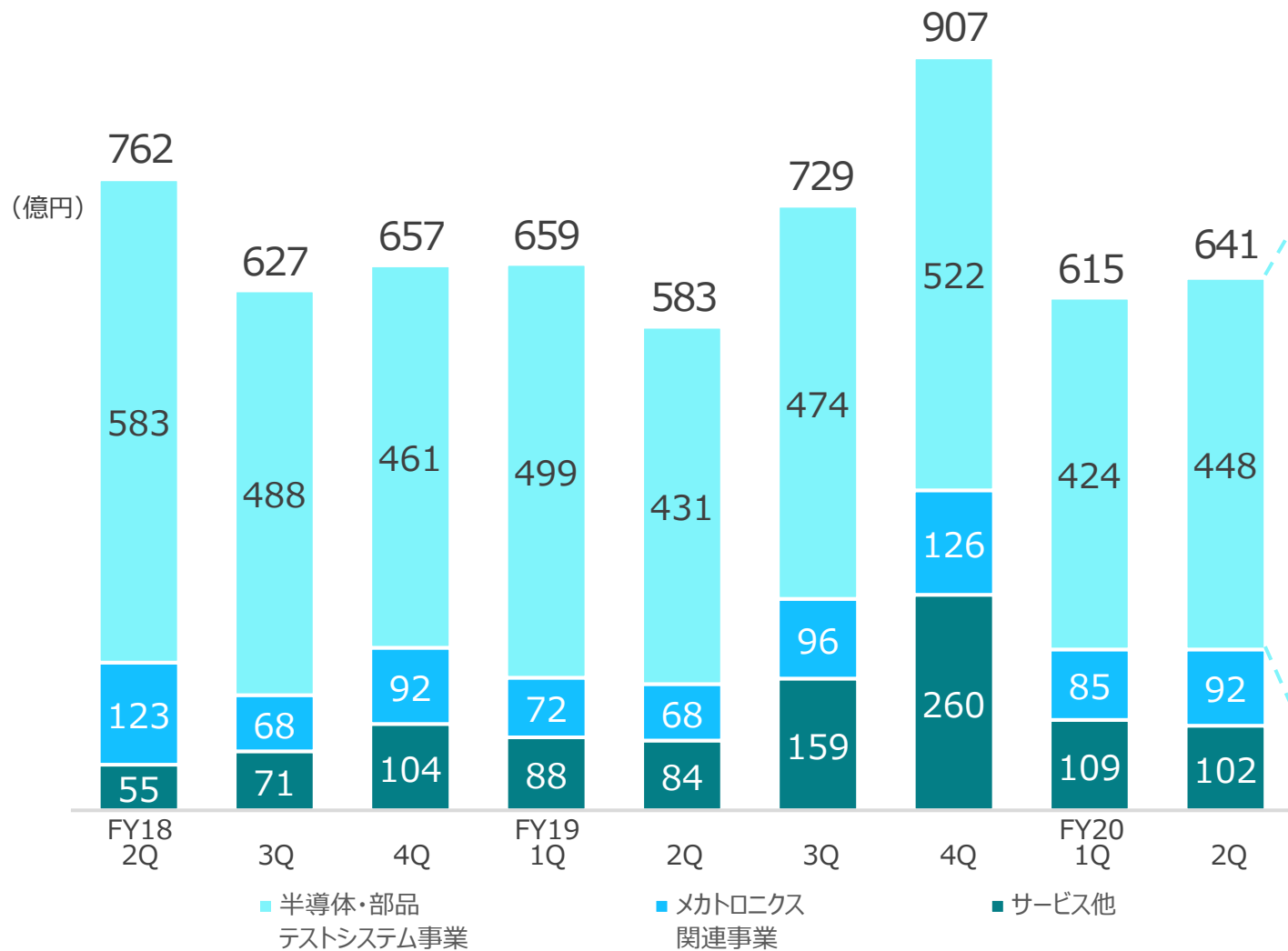
取締役 兼 常務執行役員 藤田 敦司

# 四半期業績推移

(億円)

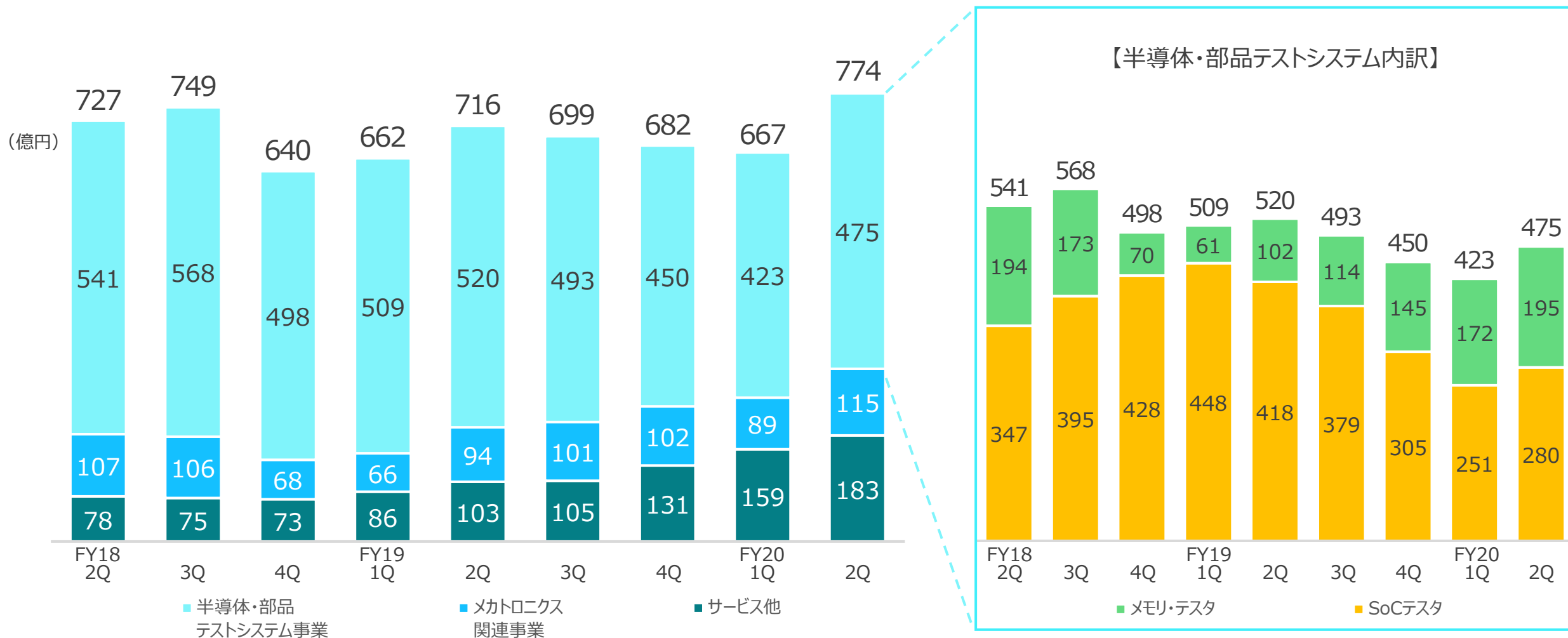
	FY19				FY20							
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q		前期比		前年同期比		
						予想	実績	増減額	増減率	増減額	増減率	
受注高	659	583	729	907	615	555	641	+27	+4.4%	+59	+10.0%	
売上高	662	716	699	682	667	733	774	+107	+16.0%	+58	+8.1%	
売上総利益	394	410	394	367	380	-	416	+37	+9.8%	+7	+1.6%	
売上総利益率	59.5%	57.3%	56.4%	53.8%	56.9%	-	53.9%	-3.0pts		-3.4pts		
営業利益	152	177	142	116	135	142	174	+40	+29.9%	-2	-1.3%	
営業利益率	22.9%	24.8%	20.4%	17.0%	20.2%	19.4%	22.6%	+2.4pts		-2.2pts		
税引前四半期利益	149	184	145	108	129	142	164	+35	+27.4%	-19	-10.4%	
四半期利益	121	147	119	148	106	113	139	+34	+32.1%	-7	-5.1%	
四半期利益率	18.3%	20.5%	17.1%	21.7%	15.8%	15.5%	18.0%	+2.2pts		-2.5pts		
M&Aに伴う受注残の増加				+42								
受注残	746	613	643	910	857	680	725	-132	-15.4%	+112	+18.3%	
為替レート	1米ドル	111円	108円	108円	110円	108円	105円	107円	1円 円高	1円 円高		
	1ユーロ	125円	121円	119円	121円	118円	120円	123円	5円 円安	2円 円安		

# 四半期受注高 事業セグメント別



\*合計にはセグメント間の内部取引の消去分が含まれます

# 四半期売上高 事業セグメント別

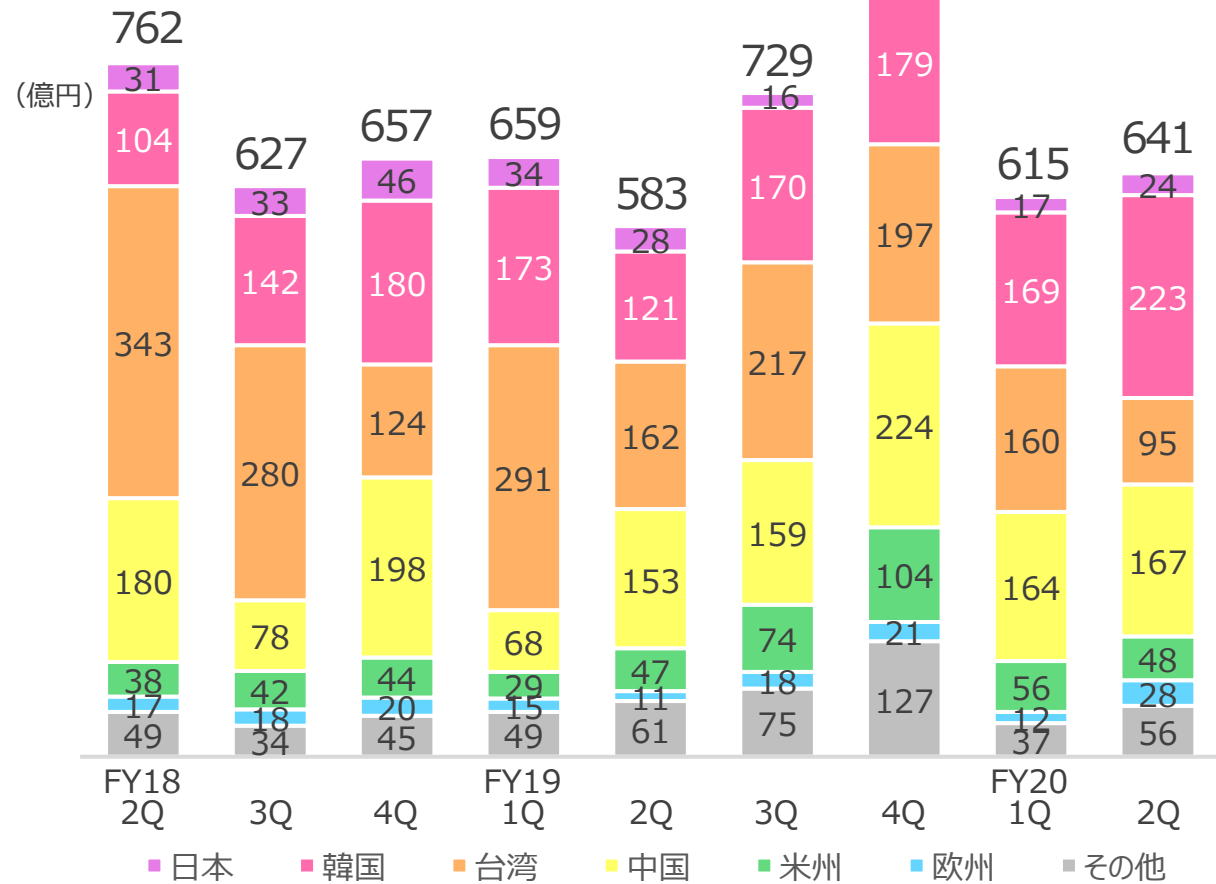


\*合計にはセグメント間の内部取引の消去分が含まれます

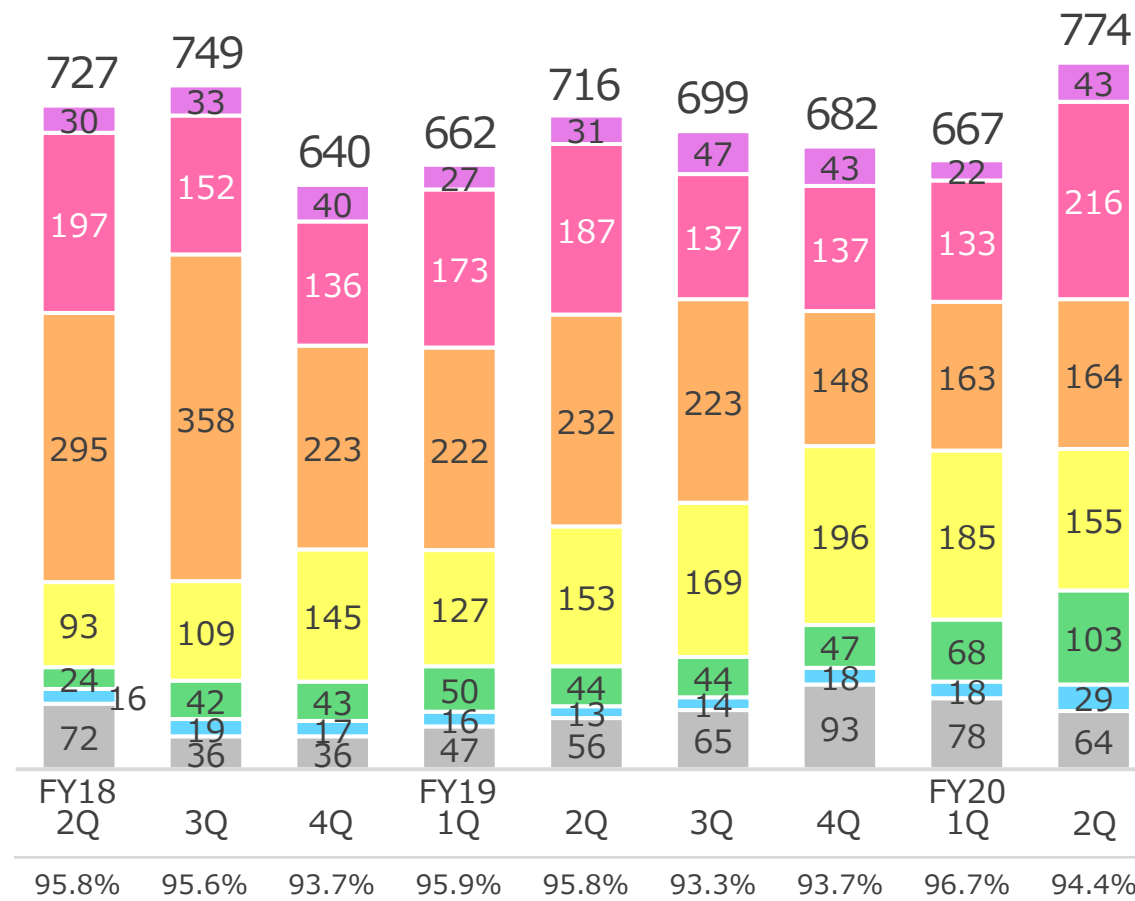
# 四半期受注高/売上高 地域(出荷先)別

<受注高>

907



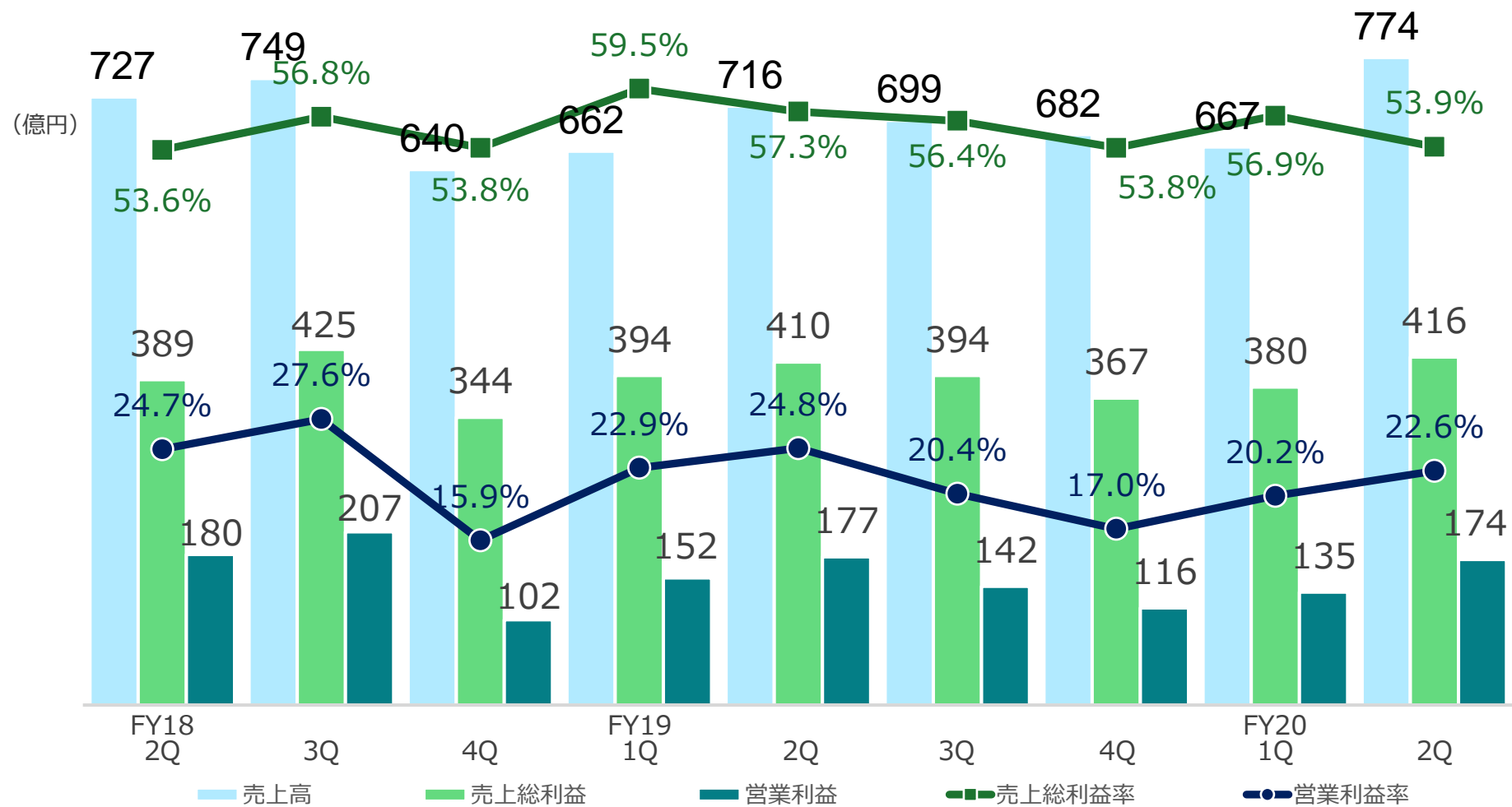
<売上高>



海外売上高比率

95.8% 95.6% 93.7% 95.9% 95.8% 93.3% 93.7% 96.7% 94.4%

# 売上高/売上総利益/営業利益

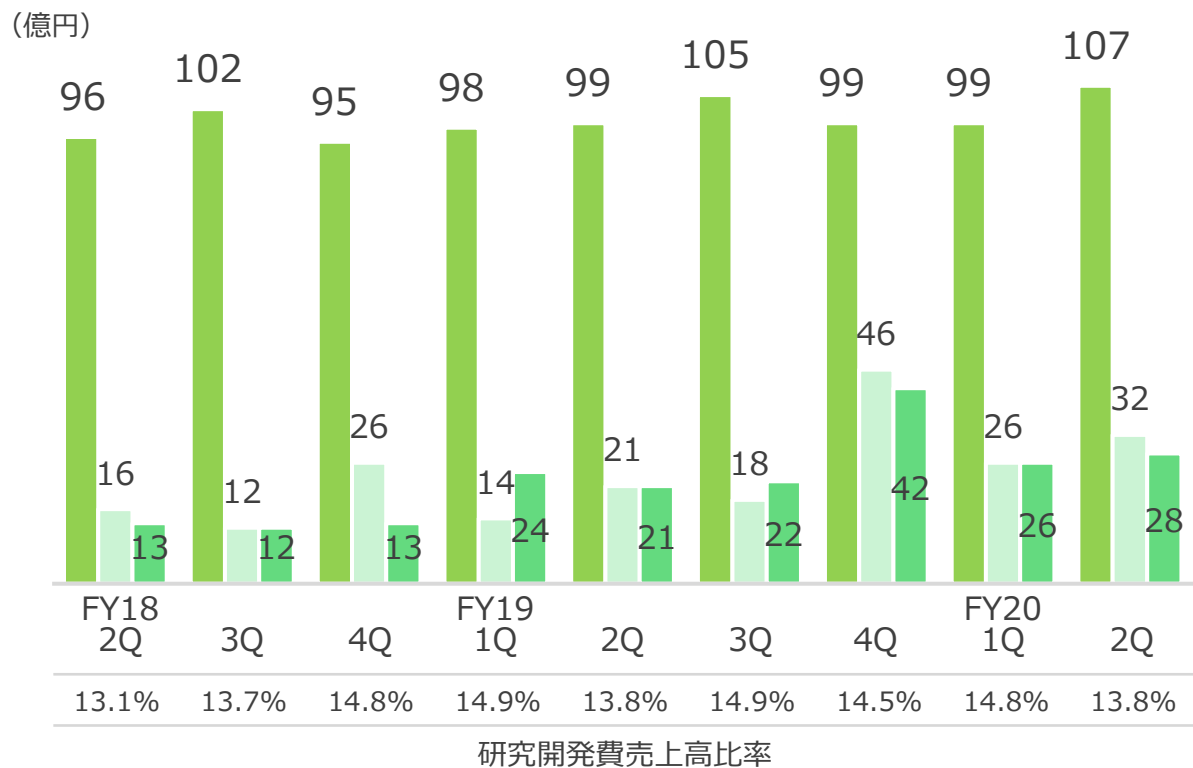




# 投資等/キャッシュ・フロー

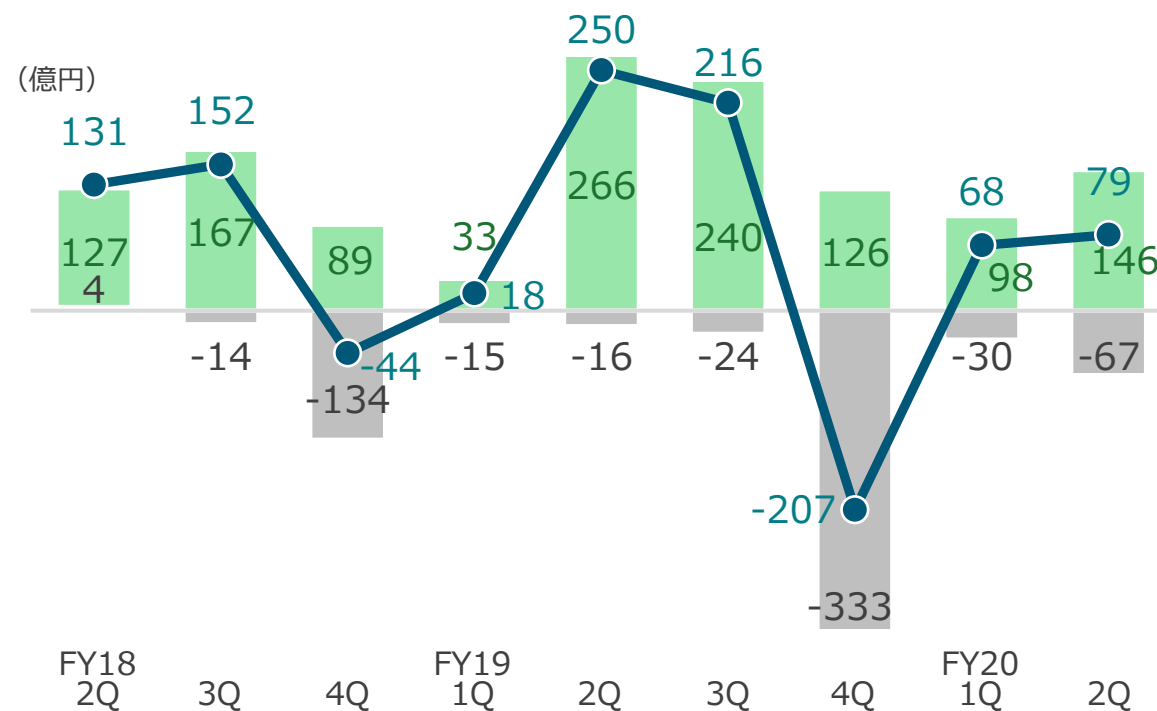
## <投資等>

- 研究開発費
- 設備投資
- 減価償却費



## <キャッシュ・フロー>

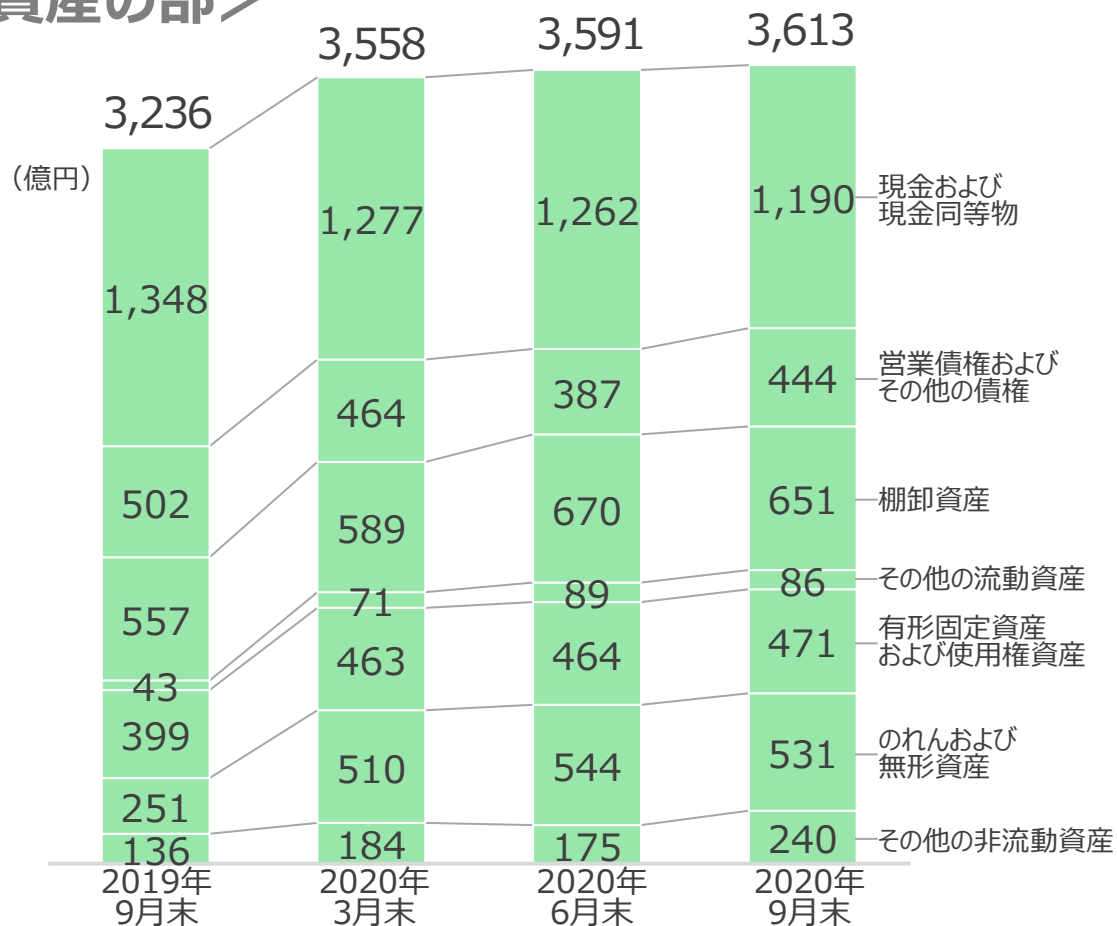
- 営業キャッシュ・フロー
- 投資キャッシュ・フロー
- フリー・キャッシュ・フロー



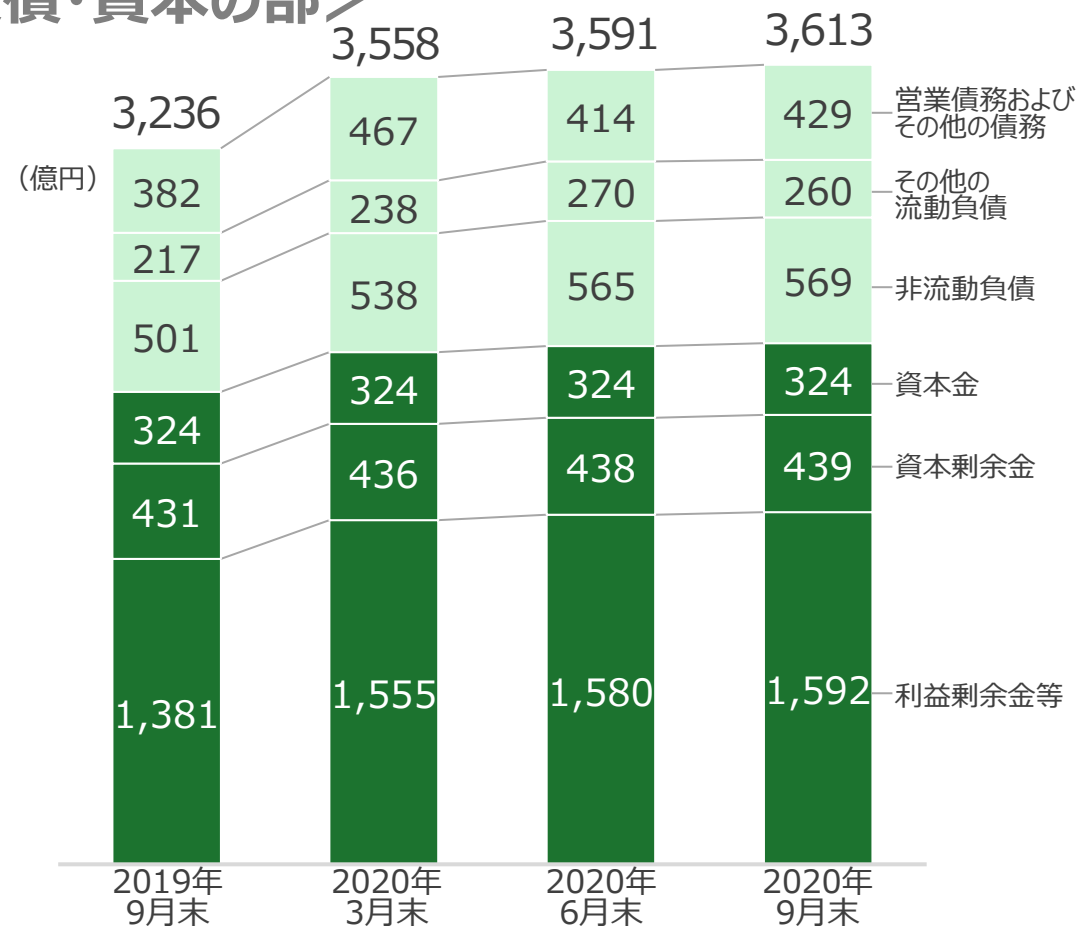
\*フリー・キャッシュ・フロー = 営業キャッシュ・フロー + 投資キャッシュ・フロー

# 連結財政状態

## <資産の部>



## <負債・資本の部>



親会社の所有者に 帰属する持分	2,136	2,315	2,342	2,355
親会社所有者 帰属持分比率	66.0%	65.1%	65.2%	65.2%

# 2020年度事業見通し

---

代表取締役 兼 執行役員社長 吉田 芳明

# 半導体テスト市場の動向 <20年10月時点の見方>

## CY20予想

- SoCテスト市場: CY20市場規模を約\$2,700Mに引き上げ
  - 先端プロセス品のテスト需要が想定以上に強く推移。HPC/AI向け半導体および、アプリケーション・プロセッサ、イメージセンサー、ディスプレイ・ドライバーICなどスマートフォン関連の半導体のテスト投資が拡大
  - 米国の中国企業規制強化に端を発したOSATのテスト余剰については、CY20年末までには峠を越える可能性が上昇。他サプライチェーンへの能力転用が積極的に進んでいることに加え、21年以降の先端プロセス品のテスト需要の伸びへの期待が加わる
- メモリ・テスト市場: 前回7月予想から市場規模推定に変更なし
  - 暦年上期はデータセンター投資の活況を背景に、DRAM、不揮発性メモリとも、想定以上にテスト投資が進展。暦年下期は一服を見込むも、メモリの大容量化・高速化進展に伴う今後の市場拡大を期待

	CY17実績	CY18実績	CY19実績	CY20推定
SoCテスト市場	約\$2,200M	約\$2,550M	約\$2,700M	約\$2,700M (7月時点推定:「約\$2,400M」)
メモリ・テスト市場	約\$750M	約\$1,150M	約\$650M	約\$1,000M (7月時点推定:「約\$1,000M」)

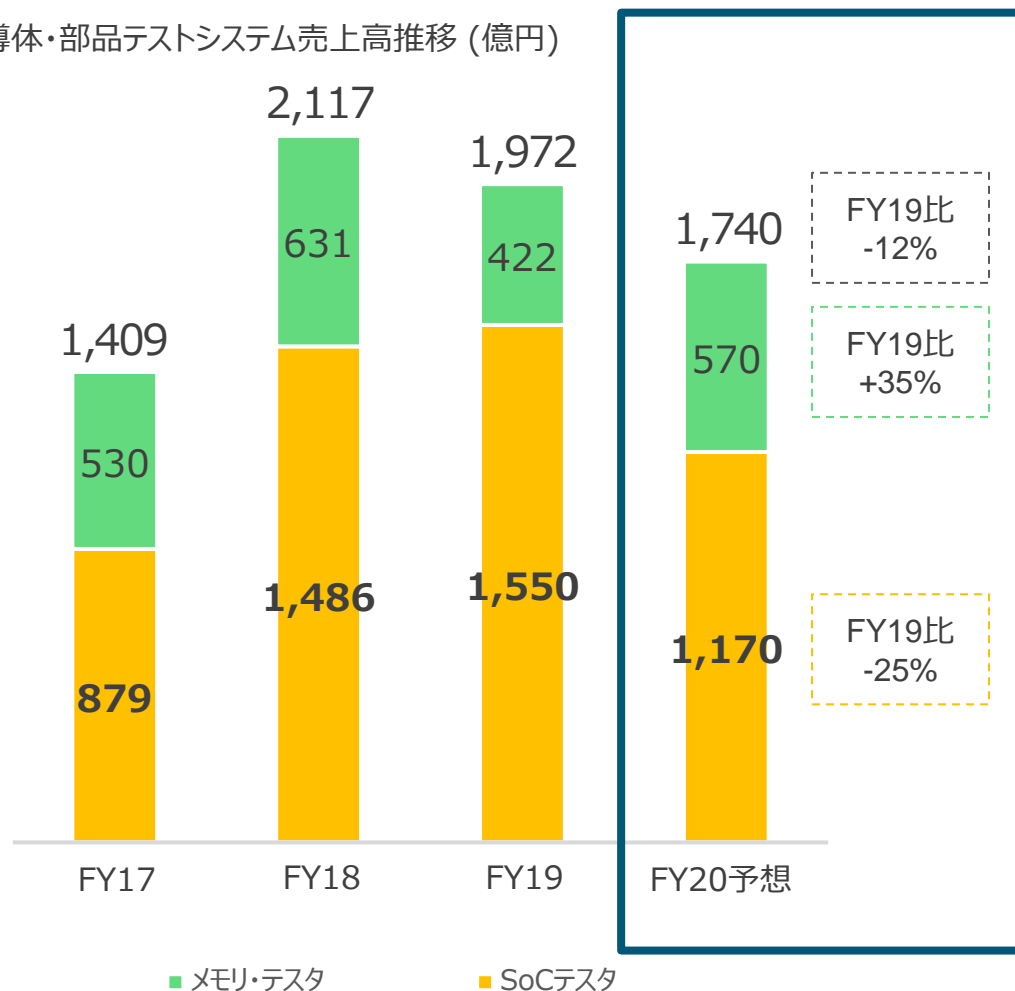
# FY20業績予想

	FY19		FY20				(参考)新旧予想比較	
	実績	上期実績	下期予想	通期予想	前年度比		7月時点 FY20予想	修正額
					増減額	増減率		
受注高	2,878	1,256	1,344	2,600	-278	-9.7%	2,400	+200
売上高	2,759	1,441	1,309	2,750	-9	-0.3%	2,600	+150
営業利益	587	309	216	525	-62	-10.6%	450	+75
営業利益率	21.3%	21.5%	16.5%	19.1%	-2.2pts		17.3%	+1.8pts
税引前利益	586	293	216	509	-77	-13.1%	444	+65
当期利益	535	245	180	425	-110	-20.6%	358	+67
当期利益率	19.4%	17.0%	13.8%	15.5%	-3.9pts		13.8%	+1.7pts
受注残	910	725	760	760	-150	-16.5%	710	+50
研究開発費	401	206	204	410	+9	+2.2%	410	-
設備投資	99	58	62	120	+21	+21.2%	100	+20
減価償却費	109	54	56	110	+1	+0.9%	110	-
為替レート	1米ドル	109円	107円	105円	106円	3円 円高	106円	-
	1ユーロ	121円	120円	120円	120円	1円 円高	119円	1円 円安

為替レート変動が当社のFY20営業利益に与える影響の最新見通しは、対米ドルが1円安時+6億円です。対ユーロは-1.5億円です。

# FY20見通し（事業別）

半導体・部品テストシステム売上高推移（億円）



## 半導体・部品テストシステム事業

### <SoCテスト>（7月予想比 +130億円）

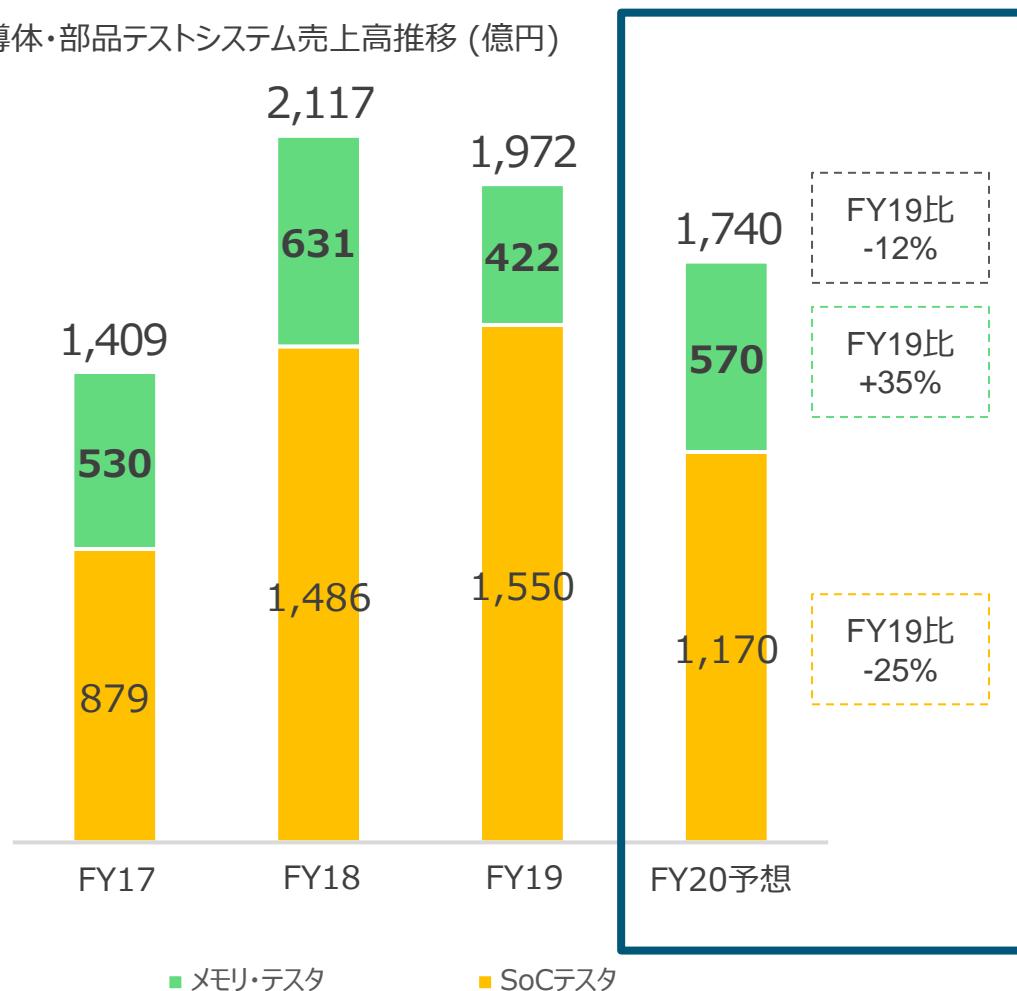
- 半導体の高性能化トレンドが継続しているが、米中対立の影響によりOSATの新規投資は調整
- 一方、スマートフォンプレーヤー間の競争がテスト需要を想定以上に喚起。また余剰テストの転用促進で、顧客のサプライチェーン再構築が加速
- 車載、産機、民生品では最終製品の需要の回復がみられ、テスト投資へ転じるタイミングを注視

【現中計における売上拡大への取り組み進捗（予想）】

	FY15-17 平均	FY18-20 平均	増減率
SoCテスト	791億円	1,402億円	+77%
メモリ・テスト	353億円	541億円	+53%
合計	1,142億円	1,943億円	+70%

# FY20見通し（事業別）

半導体・部品テストシステム売上高推移（億円）



## 半導体・部品テストシステム事業

### <メモリ・テスト>（7月予想から変更なし）

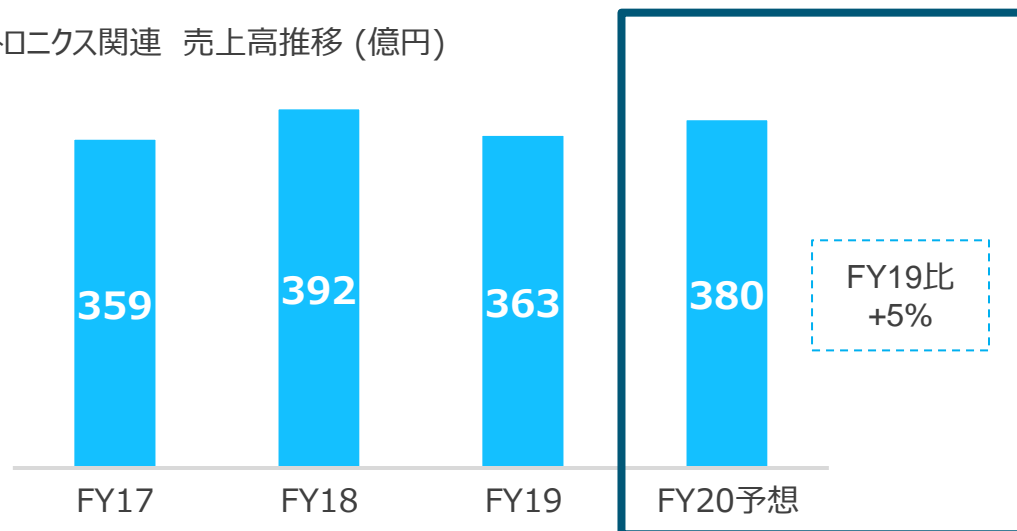
- データセンターの投資に連動したサーバー用メモリ需要増を背景に、テスト需要が上期は堅調に推移
- 従前の想定通り下期は売上減少を見込むも、CY21のDRAM微細化によるテスト強化、3D NANDの層数向上トレンドを背景に、下期の受注は堅調に推移する見通し

【現中計における売上拡大への取り組み進捗（予想）】

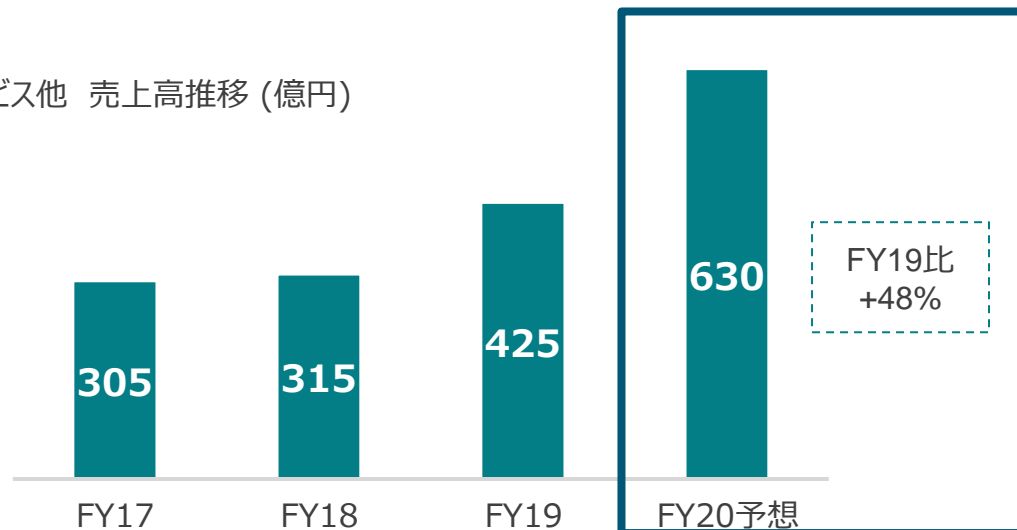
	FY15-17 平均	FY18-20 平均	増減率
SoCテスト	791億円	1,402億円	+77%
メモリ・テスト	353億円	541億円	+53%
合計	1,142億円	1,943億円	+70%

# FY20見通し（事業別）

メカトロニクス関連 売上高推移（億円）



サービス他 売上高推移（億円）



## メカトロニクス関連事業（7月予想から変更なし）

– インタフェース製品を中心に、前年度比やや増を見込む

【現中計における売上拡大への取り組み進捗（予想）】

	FY15-17 平均	FY18-20 平均	増減率
メカトロニクス関連	309億円	378億円	+22%

## サービス他事業（7月予想比 +20億円）

– システムレベル・テスト事業の顧客拡大努力が奏功、大幅増収を見込む

– フィールド・サービス事業も設置台数の増加で底堅く推移

【現中計における売上拡大への取り組み進捗（予想）】

	FY15-17 平均	FY18-20 平均	増減率
サービス他	300億円	457億円	+52%



# サマリー

---

- コロナ禍においても、顧客の投資意欲は一定レベルを維持。2Qの計画超過と下期の見通しを総合し、通期の受注予想を200億円、売上予想を150億円、それぞれ上方修正
- 米国の対中制裁のもと、主力SoCテストへの影響は継続するも、新たなサプライチェーン構築が進展する中、当社の製品ポートフォリオの多様性が落ち込みをカバー
- 懸念された対中制裁の影響は年末までに峠を越え、車載の復調、5GやHPC市場の伸びなどがSoC関連の新たな需要を創出すると期待
- M&Aで強化してきたSLTビジネスが順調に推移、売上高の底上げに寄与
- 新たなテスト需要獲得のために研究開発投資と顧客サポート体制の強化を継続